

# みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

## 避難区域内の 水の汚染状況検査結果

町で実施した避難区域内の水等の汚染状況検査結果をお知らせします。

区分	検査月日	採取地	検査結果
井戸水	10月4日	権現堂	不検出
		川添	不検出
		室原	不検出
河川流水	10月4日	やな場付近	不検出
底質	10月4日	やな場付近	2,780ベクレル/kg
海水	10月4日	請戸漁港	不検出

☎生活支援課生活安全係 ☎0243(62)0151

## 避難区域内の ゲルマニウム半導体検査結果

町が福島県に依頼し実施した避難区域内の取水場のゲルマニウム半導体検査結果をお知らせします。

区分	採取月日	採取地	検査結果
原水	10月15日	小野田取水場	不検出
		苅野取水場	不検出
		谷津田取水場	不検出
		大堀取水場	不検出

ゲルマニウム半導体検出器は、ゲルマニウムを持つ半導体（温度などの条件変化によって電気を通す率が変化する物質のこと）として性質を利用して、水や食品などに含まれる微量の放射線（γ線）を測定し、放射性物質の種類やその量を測定する分析機器です。

☎復旧事業課上下水道係 ☎0240(34)0234

## 「区長会、議会懇談会」 「区長会研修会」

10月10日、役場二本松事務所において、「区長会、議会懇談会」および「区長会研修会」が開催され、町の復旧・復興について話し合いが行われました。



## 食品の放射能簡易分析結果

町では、食品中の放射性物質を測る機器を配備し、さまざまな食品等の安全安心のため放射性物質測定を実施しています。

### ■10月の分析結果（上竹倉庫受付分）

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	23	0	いのはな、かきしめじ、うしこ
山菜、きのこ類	12	6	
米（新米）	1	0	
魚	4	0	ポポー、栗、さるなし
その他	10	3	
水（井戸水・湧水等）	10	0	
合計	60	9	

100  
ベクレル/kg以上

### ■10月の分析結果（浪江町役場本庁舎受付分）

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	4	0	ナツメ、カリン、サンザシ、柿、キウイ
山菜、きのこ類	0	0	
米（新米）	2	0	
魚	0	0	
その他	16	8	
水（井戸水・湧水等）	4	0	
合計	26	8	

100  
ベクレル/kg以上

食品衛生法における基準値（セシウム134、セシウム137の合算値）

- 一般食品……100ベクレル/Kg
- 牛乳……50ベクレル/Kg
- 飲用水……10ベクレル/Kg
- 乳幼児食品……50ベクレル/Kg

※浪江町内の食品は避難指示解除準備区域および居住制限区域の物は受け付けています。

食品の簡易測定は、随時受付しています。ご希望の方は、お問い合わせください。

☎申・問 上竹倉庫事務所 ☎0243(23)4774

# 町の農業・水産業

## 再生に向けて

### 第2回「浪江町の農業・農地を考える会」開催

11月9日、役場一本松事務所会議室において、20名の有志が集まり、第2回「浪江町の農業・農地を考える会」が開催されました。

9月に第1回の会合が開催されたところですが、このたびの会合で、会規約の制定と役員を選出が行われ、今後、正式な団体として発足することになりました。

また、津波被災地の土地利用案について、大柿ダムについて、町内での実証栽培状況について、有害鳥獣対策について、それぞれ担当者から報告がなされたあと、農業者の間で活発な意見が交わされました。町としても、正式に発足したこの会と連携し、農業者の皆



さまの意見を尊重し、農業再生に向けて取り組みを進めてまいります。なお、会合での検討内容・議事録については、町ホームページに掲載しております。

次回第3回は、12月6日(金)に現地視察を予定しています。どなたでも会に参加できますので、詳細および申し込み方法については、産業再生係までお問い合わせください。

### 実証栽培の結果について

大字北幾世橋字町尻地内において行っている野菜の実証栽培の結果についてお知らせします。

これは、福島県営農再開支援事業「営農再開へ向けた作付実証(県による実証研究)」による取り組みで、避難指示を受けた地域の営農再開を支援するため、県試験研究機関が現地でも実証研究を行っているものです。

9月に播種を行い10月に収穫したホウレンソウについて分析を行ったところ、放射性物質は検出されず、また、反転耕実施後のほ場においても、土壌診断に基づく施肥を行って栽培した結果、十分な収量性が得られることが確認されました。今後、9月に播種・定植を行ったダイコンおよびハクサイについても、同様に収穫調査を行います。

### 実証栽培の協力者募集

本年度実施している作付実証(県による実証研究)について、来年度も引き続き実施の方向で検討しています。このたび、平成26年度に浪江町内での実証栽培に協力していただける農業者の方を公募します。

なお、土地や栽培品目等の条件によっては、ご希望に添えない場合もあります。また、応募が多数の場合は、条件等勘案の上、町で対象の方を選定させていただきますが、予めご了承ください。

### 応募方法

産業再生係までご連絡ください。  
☎0243(62)0167  
▼締め切り 12月13日(金)

### 「農業者意向調査」調査票提出のお願い

11月中旬に対象者に調査票を送付しております。未提出の方は、お早めに返送ください。締め切りは11月29日でしたが、まだ受け付けております。

### ▽調査対象

- ① 町民の方で、浪江町内に農地を所有されている方
  - ② 町民の方で、震災時に浪江町内に農地を借り受けていた方
- ※認定農業者の方には、別途、県双葉農業普及所でも意向調査を行う予定です。対象者には改めてご案内しますので、こちらにもご協力いただきませうをお願いします。

### 相馬沖の試験操業について

相馬双葉漁業協同組合で取り組んでいるシラスの試験操業が10月11日から始まり、請戸支所所属の漁船・漁業者も参加しております。10月中に3度の水揚げを行いました。放射性物質検査の結果は、生、ボイルいずれも非検出でした。



水揚げ後の漁船 (10月11日撮影、松川浦漁港)

### 「浪江町水産業協働委員会」発足

請戸港での漁業再開と水産業の発展を目指し、「浪江町の新しい水産業デザイン実現化事業」を進めており、このたび、水産業の復興像について議論を深め互いに納得のいく取り組みとするため、「浪江町水産業協働委員会」および「浪江町水産業ワーキンググループ」を発足させました。

協働委員会は、行政区長、漁協組合員、関連団体、外部有識者等の約20名から構成され、豊富な知見を背景に事業の運営に適切なアドバイスをを行う役割を担います。一方、ワーキンググループは、将来を担う若手漁業



者を中心に、協働委員会の了解のもとで、さまざまなアイデアを出しあい、具体的な活動案を作成する役割を担います。

10月28日に開催された協働委員会の初会合(ワーキンググループも併せた開催)では、漁業者等の現状把握のためにアンケートを実施することが報告され、また、委員からは、「一日でも早く港を復旧し、自由に漁業ができる状態にしてほしい」「請戸の魚は、鮮魚・活魚で食べるのが美味しいが、産地で加工し特産品として販売することも考えるべき」といった意見が挙がりました。

会合での検討内容・議事録については、町ホームページに掲載しております。

### 水産業アンケート提出のお願い

対象者に調査票を送付しておりますので、早めに返送くださいませうをお願いします。

### ▽調査対象

- ① 相馬双葉漁業協同組合請戸支所の組合員およびご家族の方
- ② 請戸支所仲買人業者の方